



一般社団法人 日本LD学会

会 報 第 78 号

Japan Academy of Learning Disabilities

【事務局】 〒320-0043 宇都宮市桜 3-1-6 吉田ビル 2F
TEL.028-666-0533 <http://www.soc.nii.ac.jp/jald/>

主な記事

<特集>

障害者基本法の改正について

<連続講座>

今、改めて「連携」を問う

<お知らせ>

第20回大会・役員について



「なでしこ」の美しさ

神戸大学人間発達環境学研究所

鳥居 深雪

なでしこジャパンが優勝した。決勝戦は、アメリカに2度も先行されながら追いつき、PK戦を制しての勝利であった。あきらめないこと、可能性を信じること、日本人を信じることの大切さを、なでしこ達の姿から、あらためて教えられたように思う。私だけでなく、彼女たちの姿に、励まされ、勇気もらった日本人はたくさんいることだろう。

大辞泉によれば「なでしこ」には、「なでるようにかわいがっている子。いとしい子。愛児。」という意味もあるという。私はずっと、子どもたちを支援することを生業とさせてもらっているが、私の「なでしこ」達からも、粘り強く取り組むことの大切さを教えられることが多い。

自信がないために自分の気持ちもなかなか言えなかった子は、「先生、聞いて。あのね・・・」と、時間が足りなくなるほど、おしゃべりしてくれるようになった。語彙が少なく「あの、あれ、えーっと・・・」を頻発していた子は、「学校で～なことがあって、それで・・・」と、微に入り際に入

り饒舌に説明できるようになった。「ごきぶりポーカー」というカードゲームの「だまし」に苦労していた生徒が、後輩に向かって「ぼくは先生と練習してできるようになった。だから、みんなもやろうよ。」と、誘うようになった。二次的な症状がひどく、私に向かって「てめえ、ぶっ殺すぞ」と叫んでいた生徒が、今では「先生、今日はありがとう」と言ってくれる。それぞれ、長い時間をしていねいに積み重ねる中で、見せてくれた成長の姿である。こんななでしこ達がたくさんいる。私のなでしこ達の持っている可能性もなかなかのものである。

なでしこは強い。なでしこはあきらめない。なでしこの美しさは、日本の美しさであり、また、苦難に粘り強く耐えて咲かせる花の美しさでもある。発達障害の子ども達も、さまざまな困難を抱えているが、必ず美しい花を咲かせる日が来る。なでしこの美しさを心に刻み、私も子ども達とともに在り続けたいと思う。なでしこの花咲く明日を信じて。